

日程を変更しました

令和3年度山形大学農学部公開講座

農学の夕べ

10月

第1回 10月7日(木)

「酸化ストレスへの防御～体がもつ抗酸化防御系について～」
准教授 小林 翔

第2回 10月14日(木)

「ブタ学 –ブタとヒトのふか～い関係–」 教授 堀口健一

第3回 10月21日(木)

「地球温暖化と豪雨水害…マイタイムラインについて…」
名誉教授 前川 勝朗

第4回 10月28日(木)

「なぜ植物は大きくなるのか？」
–芽生え～巨木への“根深い成長制御メカニズム”–
教授 森 茂太

11月

第5回 11月4日(木)

「江戸以前の御来迎について」 客員教授 前田 直己

第6回 11月18日(木)

「クスリが効かない細菌が身の回りに!?」
水環境を対象とした国内外の調査事例の紹介
准教授 西山 正晃

第7回 11月25日(木)

「人の影響で野生生物が急速に進化する?!」
助教 小峰 浩隆

10/7(木)~11/25(木)

18:30~19:30 (全7回)

山形大学農学部3号館301講義室
先着70名(高校生、一般)
参加無料

10月7日(木)より
スタートします!

※今後のコロナの感染状況により、再度予定が変更になる場合がありますので、その都度本学部HPでご確認ください。

※当講座の様子については、写真撮影の上、各種広報誌やWeb上等に掲載することがありますので予めご了承願います。顔写真の撮影等につき特段のご要望がある場合は担当職員にお申し出ください。



【お問い合わせ先】山形大学農学部総務課企画広報室 TEL 0235-28-2911

《講義概要》 ※日程変更版

開講日	講義テーマ	講義概要	担当
第1回 10月7日 (木)	酸化ストレスへの防御 ～体がもつ抗酸化防御系について～	常に体は様々な刺激により活性酸素に曝されています。過剰な活性酸素は体に悪影響を与え、老化や生活習慣病の原因になり得ます。そのような活性酸素に対して抗酸化酵素や抗酸化物質が協調的に働き、体を保護しています。本講義では、活性酸素と体がもつ抗酸化防御系についての概説と共に最近の研究内容についてご紹介いたします。	准教授 小林 翔
第2回 10月14日 (木)	ブタ学 – ブタとヒトの ふか～い関係 –	ブタは、動物分類学上、脊椎動物門、哺乳動物綱、偶蹄目、非反芻亜目、野猪科、野猪属の動物で、現在の野生のイノシシが家畜化されたものです。さて、皆さんのブタに対するイメージはどのようなものでしょうか？小さいときは、かわいくて愛らしいけど、成長して大きくなると・・・といったイメージですかね。本講義では、ブタを少し身近に感じていただきたく、「ブタ学」について概説します。	教授 堀口 健一
第3回 10月21日 (木)	地球温暖化と豪雨水 害.....マイタイムライン について.....	2020年7月末、最上川、赤川が出水し、驚きました。日本周辺の海水温も高く、その影響で豪雨、地球温暖化を身近に感じました。治水対策は今日「タイムライン（事前行動計画）」として進んでいます。先人達はこれまで治水とどのように向きあってきたのかを現代まで概観します。	名誉教授 前川 勝朗
第4回 10月28日 (木)	なぜ植物は大きくなる のか？～芽生え～巨 木への“根深い成長 制御メカニズム”～	植物成長メカニズムは植物栽培、育成の基本であり、ここには樹木が巨大化する進化学的な意義が隠されています。現在の植物成長モデルは、光合成による成長駆動モデルだけです。しかし、1本の植物の根全体と地上部全体の生理的つながり方を芽生え～巨木で実測すると【根が初期成長を牽引し、晩期成長を抑制】することが見えるのです。	教授 森 茂太
第5回 11月4日 (木)	江戸以前の御来迎に ついて	世界で最初にブロッケン現象に名前をつけたのは、出羽三山の修験者だった?! 俳人・松尾芭蕉が奥の細道で出羽三山に修行に入った際の門人、曾良の随行日記に着目し、山岳信仰と歴史について昨年度に引き続き読み解いていきます。 ※ブロッケン現象:高山に登った際、登山者自身の影が太陽を光源にして霧や雲に映る現象。飛行機の影が雲に映ることや、影の周囲に虹のような光の輪が現れることがある。	客員教授 前田 直己
第6回 11月18 日(木)	クスリが効かない細菌 が身の回りに!?-水環 境を対象とした国内外 の調査事例の紹介	細菌によって引き起こされる病気である感染症の治療には「抗菌薬」が処方されますが、最近ではクスリの効かない細菌（薬剤耐性菌）が出現して問題となっています。本講義では、薬剤耐性菌の問題を解説し、日本と東南アジアの水環境を対象とした薬剤耐性菌の調査事例を紹介します。	准教授 西山 正晃
第7回 11月25 日(木)	人の影響で野生生物 が急速に進化する ?!	人の影響で野生生物が急速に進化する。そんなことが起こり得るのでしょうか？私は、奄美大島やオーストラリアにて、外来種の導入や都市開発が野生生物の性質にどのような影響を及ぼすのかを評価してきました。今回は、関連する内容についてご紹介いたします。	助教 小峰 浩隆

新型コロナウイルス感染拡大防止対策について
～当講座にご参加の皆様へお願いとご注意～

- 今後の新型コロナウイルス感染状況により、講座内容や日程等の変更または中止する場合があります。必ず当学部ホームページをご確認ください。
- ご来場の際は、マスクの着用、入口での手指消毒・検温にご協力願います。
- 受講申込み時に教えていただく氏名、住所、電話番号等の個人情報について、関係機関に提供する場合があります。
- 次のいずれかに該当する方は、ご来場をお控えください。
 - ①体調がよくない（平熱を超える発熱、咳・のどの痛み等風邪症状、だるさ、息苦しさなど）
 - ②嗅覚や味覚の異常
 - ③新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触。
 - ④同居家族や身近な知人に感染が疑われる人がいる。
 - ⑤講座前14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある。